

## 安全施工への意識高揚

網走工業が安全衛生大会

### 無事故・無災害達成誓う



【網走発】網走工業㈱(網走、笠谷俊一社長)は十日、網走市内オホーツク文化交流センターで安全衛生大会を開催した。同社役員ら約三十人が出席。交通安全や健康管理に関する講話などを通して、無事故・無災害達成を誓い合った。

はじめに、笠谷社長がいさつ「写真」。ことし三月に道東地方を襲った暴風雪をはじめとした自然災害に言及し、「今後は工事災害に加えて、局所的な自然災害に対しても、決して他人事ではなく、しっかりと対処しなくてはならない」と強調。「自分の身を守る

ことが工事の安全につながるという原点に立ち返り、絶えずわが身を守ることがシミュレーションしながら仕事に取り組んでほしい」と呼びかけた。また、工事繁忙期に差しかり、資材や労働力の不足が生じる懸念を示し、「工事が忙しくなると、事故の危険度が増す。今シーズンの安全管理は、一人ひとりの意識にかかっている」と述べ、安全施工への意識のさらなる高揚を求めた。

福井正彦常務のあいさつに続き、網走警察署の藤原学交通課長が「交通安全について」と題して講話。網走署管内における交通死亡事故や人身事故、物件事故の発生件数の推移を示し、「車の安全性の向上や道路

環境の改善、交通モラルの向上により、死亡事故や人身事故件数は減少しているが、物損事故は増加傾向にある。人が集まる場所での発進時には十分に注意してほしい」と呼びかけた。

網走市役所健康管理課の須藤敦美管理栄養士が「健康管理について」と題して講話したあと、従業員代表の澤田晴喜氏が労働安全決意宣言し、社員一丸となって本年度の無事故・無災害を誓い合った。